

令和7年2月改定

「社会の中で、他者とよりよく関わりながら自分らしく生きる山北の子ども」を育む 山北スタンダードカリキュラム



中学校教育

◎社会的表現力の育成



社会の中で、
他者とよりよく
関わりながら
自分らしく生きる
山北の子ども

小学校教育

◎対話力の育成



幼児教育

◎人と積極的に
関わる力の育成



乳児保育

◎愛着関係の形成



● 非認知能力の育成

【受け取る力】

- ・ 応答的な関わりをする
- ・ 話し手の目を見る

【伝える力】

- ・ 思いをしぐさや言葉で表す
- ・ あいさつや返事をする

【運動】

- ・ 探索活動を楽しむ
- ・ 繰り返し試して遊ぶ

● 非認知能力の育成

【受け取る力】

- ・ 話し手の目を見る
- ・ 反応する
- ・ 最後まで聞く

【伝える力】

- ・ あいさつや返事をする
- ・ 遊びの中で知っている言葉を使い、自分の気持ちを伝える
- ・ 困ったことを伝える

【運動】

- ・ 体を動かして遊ぶ
- ・ 外に出ること、外で遊ぶことを楽しむ
- ・ 友達と共に、遊びを楽しむ

● 非認知能力育成の 継続と、主体的に 学ぶ力の育成

【受け取る力】

- ・ 相手の話を共感的に最後まで聞く
- ・ 相手の考えや意図を理解しようとする
- ・ 相手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる

【伝える力】

- ・ 自分の立場を明確にし、根拠や理由をつけながら伝える
- ・ 相手に伝わりやすいような話し方を工夫する
- ・ 友達の考えとつなげて話す

【運動】

- ・ 多様な運動に進んで取り組む
- ・ 目標をもって継続して運動する
- ・ 苦手なことにも挑戦し続ける
- ・ みんなで楽しむ雰囲気を作ること

● 育まれてきた非認知能力を、社会で生かす 思考力・判断力・ 表現力の育成

【受け取る力】

- ・ 論理の展開などに注意したり話の展開を予測したりしながら聞き、自分の考えをまとめる
- ・ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりする

【伝える力】

- ・ 根拠をもとに自分の立場を明確にし、相手が理解納得できるように論理の展開を考えて説明する
- ・ 場の状況に応じて言葉や表現を工夫し、分かりやすく伝える
- ・ 合意形成に向け、互いの発言を生かしながら話し合う

【運動】

- ・ 生涯学習の視点にたち、運動やスポーツに親しむ
- ・ 継続的な運動やスポーツをとおして、心身の健康を維持する
- ・ 運動やスポーツでの交流をとおして、地域社会の一員として貢献する

人権感覚・人権意識の涵養¹

涵養¹ 自然に水がしみこむように徐々に養い育てること

段 階		園（0歳～2歳）	園（3歳～就学前）	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
一貫教育・保育の目的		社 会 の 中 で 、 他 者 と よ り よ く 関 わ り な が ら 自 分 ら し く 生 き る 山 北 の 子 ど も の 育 成										
各 段 階 で め ざ す 形 成 ・ 育 成 す る 力	山 北 ス タ ン ダ ー ド カ リ キ ュ ー ラ ム	愛着関係の形成	人と積極的に 関わる力の育成	対話力の育成					社会的表現力の育成			
		【受け取る力】 ・応答的な関わりをする ・話し手の目を見る	【受け取る力】 ・話し手の目を見る ・反応する ・最後まで聞く	【受け取る力】 ・相手の話を共感的に最後まで聞く ・相手の考えや意図を理解しようとする ・相手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる					【受け取る力】 ・論理の展開などに注意したり話の展開を予測したりしながら聞き、自分の考えをまとめる ・聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりする			
		【伝える力】 ・思いをしぐさや言葉で表す ・あいさつや返事をする	【伝える力】 ・あいさつや返事をする ・遊びの中で知っている言葉を使い、自分の気持ちを伝える ・困ったことを伝える	【伝える力】 ・自分の立場を明確にし、根拠や理由をつけながら伝える ・相手に伝わりやすいような話し方を工夫する ・友達の考えにつなげて話す					【伝える力】 ・根拠をもとに自分の立場を明確にし、相手が理解納得できるよう論理の展開を考えて説明する ・場の状況に応じて言葉や表現を工夫し、分かりやすく伝える ・合意形成に向け、互いの発言を生かしながら話し合う			
		♡受容的、応答的な関わりのもとで、安定感をもって過ごす。 ○身近な人の言葉に関心をもって聞こうとする。	♡人との関わりを通して、相手の思いを理解しようとする。 ○様々な体験を積み重ねながら、話を聞くことの楽しさを味わう。	○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ。 ●文章の中の重要な語や文を考えて選び出す。	○必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつ。 ●目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する。	○話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。 ●目的に応じて、必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりする。	○必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点を踏まえて、自分の考えをまとめる。 ●目的に応じて必要な情報に着目して要約して、内容を解釈する。	○論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。 ●文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈する。	○話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりする。 ●文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。			
		♡相手の方へ体や視線を向け、うなずいたりあいづちを打ったり、表情で反応をしたりする ○□質問で話を引き出す ○□質問で思いや考えを引き出す ○□質問で相手の思いに迫る										
		♡体の動きや発声などの表現を優しく受け止めてもらい、やり取りを楽しむ。 □保育者などの応答的な関わりや話しかけにより、言葉を覚えたり、自ら言葉を使おうとしてみたりして、言葉で表現する楽しさを味わう。	♡自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 □経験したことや考えたことを話し、伝わる喜びを感じ、伝え合う楽しさを味わう。 □生活の中で必要な言葉が分かり、親しみをもってあいさつをする。	□相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考える。 ■語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する。	□相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考える。 ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫する。	□話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考える。 ■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。	□自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考える。 ■根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。	□自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。 ■根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。	□自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫する。 ■表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫する。			
		★人の話に耳を傾けて聞いたり、自分も真似してみたりする。	★自分が経験したことや感じたことを、自分なりの言葉で発表する。■振り返り、サークルタイムなど ★共通の目的に対して自分の考えを言ったり、友達の考えを聞いたりして思いを出し合う。■保育ウェーブマップ	★互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐ。	★互いの意見の共通点や相違点に着目しながら話し合い、考えをまとめる。	★互いの立場や意図を明確にしながら話し合い、考えを広げたりまとめたりする。	★話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる。	★互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめる。	★進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりする。			
		・ 質問する ・ 復唱して確かめる ・ 共感を示す ・ 感想を言う ・ メモしたり記録したりする ・ 相手の立場や考えを尊重する ・ 「相手に伝わっているか」を意識する										
		学 習 形 態										

2 山北スタンダードカリキュラム〔運動〕

段階	園（0歳～2歳）	園（3歳～就学前）	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	
山北 スタン ダード カリ キュ ラム	社 会 の 中 で 、 他 者 と よ り よ く 関 わ り な が ら 自 分 ら し く 生 き る 山 北 の 子 ど も の 育 成											
	・探索活動を楽しむ ・繰り返し試して遊ぶ	・体を動かして遊ぶ ・戸外に出ること、外 で遊ぶことを楽しむ ・友達と共に、遊びを 楽しむ	・多様な運動に進んで取り組む ・目標をもって継続して運動する ・苦手なことにも挑戦し続ける ・みんなで楽しむ雰囲気を大事にする						・生涯学習の視点にたち、運動やスポーツに親しむ ・継続的な運動やスポーツをとおして、心身の健康を維持する ・運動やスポーツでの交流をとおして、地域社会の一員として貢献する 体を動かす楽しさや心地よさ・技ができる ・記録の向上や競争・感じを込めて踊る・みんなで踊る・勝敗を 競うなどの楽しさや喜びを味わう			
			運動遊びの楽しさに触れる		運動遊びの楽しさや喜びに 触れる		運動遊びの楽しさや喜びを 味わう					
・町 働 き か ・学 校 の 境 行 設 事 定 等 を 生 か し た 取 り 組 み	親子ふれあい遊び お楽しみ会	運動会	運動会 児童会活動による運動習慣化・体力向上等をねらいとした体育・スポーツイベント等 伝承遊びを含めた多様な遊びの日常化						体育祭 生徒会活動による運動習慣化・体力向上等をねらいとした体育館開放 およびレクリエーション等			
	山北高校生とのふれあい運動遊び		持久走記録会 ●時間走記録会に向けて2週間程度朝の時間に走る場を設定 ●児童が主体的に取り組めるような全校目標の設定						夏季・冬季休み期間の体力づくり(短縄跳び)			
	大学連携による ●体力測定 ●運動遊び→幼児期に 経験しておきたい基 本の動き		「新体力テスト」を全学年で実施 結果の個別フィードバックと学校課題の把握 学校課題を踏まえた体育学習指導方法及びカリキュラムマネジメントの工夫と改善の継続									
	園外保育(散歩など)・遠足		小学校では、新体力テストの実施にあたり、 ①1年と6年・2年と5年・3年と4年がペアを組んでともに活動し、異学年の交流を深める機会にする。 ②山北高校生との交流時間を設け、高校生から測定方法や各種目のポイントの具体的な助言を受ける。						中学校体育担 当者出前授業			
	小・中の運動会や体育祭の練習見学 →そこで見た種目を取り入れた運動遊び		●仲間とコミュニケーションを深めながら、自分の「できる」「もっとできそう」「楽しい」体験を各段階や個に応じて積み重ねる場とする。 ●活動を通して気付いた仲間のよさを自分の中に取り入れたり、自分ができることを仲間に教えたりする関わりを大切にする。									
	やまきたチャレンジ 縄跳び遊び(なわとなかよし)	やまきたチャレンジ 短縄跳び(いろいろな跳び方に挑戦しよう)	短縄跳び(いろいろな跳び方に挑戦しよう)						大縄跳び（心をつに）			
	町事業 親子運動遊び	町事業 やまきたスポーツの秋まつり	安全に運動遊び・運動に親しむ環境づくり 友達や仲間と関わりながら、互いのよさに気付けるような声かけと働きかけ									
			丹沢湖マラソン大会 カヌーマラソンIN丹沢湖 球技大会 パークゴルフ大会 カヌー体験教室 ニュースポーツ教室 ほか									
活 動 ・ 学 習 内 容 等	乳児期 ・はう、立つ、歩く など、十分に体を 動かす ・玩具や身の回りの ものを、つまむ、 つかむ、たたく、 引っ張るなど、手 や指を使って遊ぶ ・あやし遊びの中で、 歌やリズムに合わ せて手足や体を動 かして楽しんだり す。	★転ぶ体験も大事にする。 ・いろいろな遊びの中 で十分に体を動かす ・進んで戸外で遊ぶ ・様々な活動に親しみ、 楽しんで取り組む	体づくりの運動遊び ●体ほぐしの 運動遊び ●多様な動きを つくる運動遊び	★体を動かす気持ちよさと友達と 関わり合うよさに気付かせる。 ★腕支持や逆さ感覚、投 げる運動を重点に扱う。	器械・器具を使つての運動遊び ●固定施設を使った運動遊び ●マットを使った運動遊び ●鉄棒を使った運動遊び ●跳び箱を使った運動遊び	★自分に合った 場が選択で きるように する。	走・跳の運動遊び ●走の運動遊び ●跳の運動遊び (◎)	水遊び ●水の中を移動する運動遊び ●もぐる・浮く運動遊び	ゲーム ●ボールゲーム (ボール投げ (◎) ・ボール けり) ●鬼遊び	★楽しく運動の特性に触れられる ようボールの数、ルールや場の 広さ、用具等を工夫する。	表現リズム遊び ●表現遊び ●リズム遊び	★表現遊びやリズム遊びでは、自分が気 に入った動きや自分が見付けた友達のよい動 きを言葉や動作で伝える活動を大事にする。
	満1歳～満3歳未満 ・走る、跳が、登る、 押す、引っ張るな ど全身を使う遊び を楽しむ ・音楽、リズムやそ れに合わせた体の 動きを楽しむ ・簡単な手遊びや全 身を使う遊びを楽 しむ	★子どもたちが創意 工夫しながら安全 に運動遊びがで きるよう、用具の種 類や置き場などの 環境設定をする。 ★子どもたちのアイ デアを日常の運動 遊びに取り入れる。 ★遊びの中で楽しく、 やってみたいと思 える意識を育てる 環境を整える。 ★「きまりを守る」 「最後までがんば る」「遊びを発展 させる」などの姿 や、子どもどうし の声かけ」を的確 に見取り、援助す る。	体づくりの運動 ●体ほぐしの運動 ●多様な動きをつくる運動	器械運動 ●マット運動 ●鉄棒運動 ●跳び箱運動	★ICT機器を活用して、技のポイントを確認したり自分や友達の動きを確かめたりする。	走・跳の運動 ●かけっこ・リレー ●小型ハードル走 ●幅跳び (◎) ●高跳び (◎)	陸上運動 ●短距離走・リレー ●ハードル走 ●走り幅跳び (◎) ●走り高跳び (◎)	水泳運動 ●浮いて進む運動 ●もぐる・浮く運動	ゲーム ●ゴール型ゲーム (セストボール (◎) ・サッカー) ●ネット型ゲーム (キャッチバレー) ●ベースボール型ゲーム (ハンドベースボール ・ティボール等)	★ゴール型を扱うときは、一人の子どもの触球数を増やしたり、ボールを持たないときの動きを 身に付けたりしやすくするため、3対3で行う活動をベースにする。 ★だれもが運動の特性に触れられるよう、ルールやコート広さ、用具等を工夫する。	表現運動 ●表現 ●リズムダンス	★リズムダンスでは、子どもたちが興味関心を持っている曲も取り 入れて、楽しく様々なリズムに触れられるようにする。
			体づくりの運動 ●体ほぐしの運動 ●体の動きを高める運動	器械運動 ●マット運動 ●跳び箱運動								
			★各単元でICT機器の活用を図る						●健康に生活するための体力の向上を図る運動の計画と実践 ●運動を行うための体力の向上を図る運動の計画と実践			
			★チームの作戦を立てる際には、学習カードや山北SCを 意識した話し合いを実施する。						DANCE!! ●文化祭でステージ発表を行う。			
			●運動やスポーツの 多様性						●運動やスポーツの意 義や効果と学び方 や安全な行い方		●文化としてのスポ ーツの意義	